

香曾我部義則先生の今月のカルテ 21

慢性痛とペインクリニック

目には見えない「痛み」を和らげ、治療を行う専門の診療所ペインクリニック。その治療法について、榎木病院麻酔科・ペインクリニックの香曾我部義則先生が、分かりやすく説明してくれるこのコラム。第21回のカルテは、仙腸関節の痛みについてです。

腰や臀部（お尻）からよって起こります。しかしの一つに仙腸関節の異常、下肢が痛む原因として、レントゲン写真やMRがあるのです。仙腸関節、腰椎椎間板ヘルニア、腰Iでは異常が見つからないとは骨盤を形成している

部脊柱（せきつい）管狭窄症、変形性腰椎症、腰椎椎間関節症などが挙げられることを前回までに説明してきました。坐骨神経痛の多くはこれらに

坐骨神経痛と間違われる神経痛に仙腸関節の異常が圧痛部が明確な場合はトリガーポイント注射が効果的

い坐骨神経痛に似た神経痛もあります。この原因は坐骨神経痛に似た神経痛を連結している関節を指します（図1）。

主要な骨である仙骨と寛骨まで痛みが生じてきます。女性は妊娠や分娩によってゆがみが生じる

この関節は従来動かない関節と考えられていましたが、腰などへの負荷を受け止めるためずれるように動きます。比較的小さな関節のため、大きな負荷がかかると関節の障害が起こり、腰から下

（第5腰椎神経）・S1（第1仙骨神経）・S2（第2仙骨神経）から枝分かれして分布しているためです（図2）。坐骨神経はL3（第3腰椎神経）、S3（第3仙骨神経）から形成される人体最大の神経です。横向きに覆って骨を上から強く押して痛みが出れば仙腸関節の痛みの可能性がります。

今年一年ご愛読ありがとうございました。来年も有意義な話題提供と分かりやすい解説を心掛けてまいりますので宜しくお願いします。良いお年をお迎え下さい。



香曾我部義則先生

山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長を経て平成16年4月1日から現職。日本麻酔学会専門医、日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

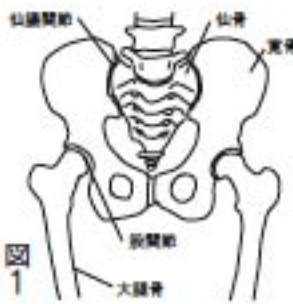


図1

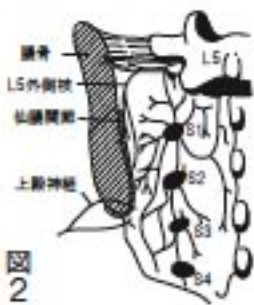


図2

治療は消炎鎮痛薬や筋弛緩薬が用いられ、圧痛部がはっきりしている場合にはトリガーポイント注射が効果を示します。腰部の硬膜外ブロックも治療に取り入れられます。これらの治療でも改善しない場合は仙腸関節へ直接注射する仙腸関節ブロックが効果的です。また関節の変形が強く痛みが繰り返すようであれば仙腸関節の神経への高周波熱凝固治療が効果的です。股（こ）関節や膝関節の障害でも同じような症状が出るので、専門医の診察を受けることをお勧めします。

■メモ 問い合わせ先

☎(093)333515(代)

榎木病院(西花尻)